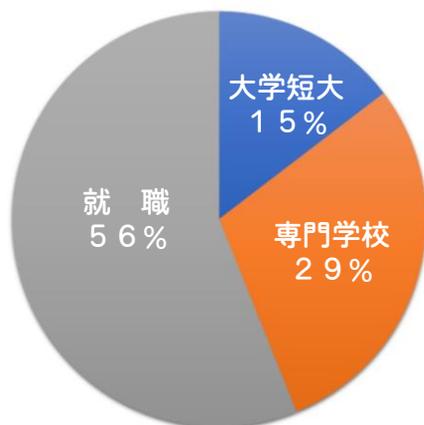


1. 進路状況

過去3年間の進路先の割合



進路決定率
9年連続 100%

蘭越高校の進路先の割合は、左のグラフのような状況となっています。就職の割合は、55%前後で推移しています。景気の好不況があっても、就職決定率100%を9年間継続しています。進学については、近年は大学・短大へ進学する割合が増えています。

蘭越高校は、きめ細かな進路指導・キャリア学習により、多様な進路希望をかなえています。

○充実の指定校推薦枠

<四年生大学>

札幌大学
札幌学院大学
札幌国際大学
星槎道都大学

函館大学

北海道医療大学
北海道情報大学
北翔大学 など

<短期大学>

北星学園大学短期大学部
北翔大学短期大学部
札幌国際大学短期大学部
國学院大学北海道短期大学部 など

蘭越高校には、道内の私立大学・短期大学を中心に多数の指定校推薦枠があります。

掲載していませんが、道外の大学等の指定校推薦枠もあります。

※指定校推薦とは、大学が定めた指定校の生徒のみが出願することができる制度です。

近年の進路実績は右に掲載のとおりです。

進学については、推薦入試などを活用し合格しているケースが多い状況です。体験を重視した授業の多い本校の特色をいかして進路を実現していると言えます。

就職については、蘭越町内や札幌近郊など、さまざまな地域に就職をしています。業種や職種についても、幅広く就職しています。

○進路実績

<進学>

●小樽商科大学
●北海道教育大学函館校
●室蘭工業大学
●札幌市立大学
●はこだて未来大学
○國學院大學
○札幌学院大学
○北翔大学・短期大学
○道都大学
○身延山大学
○北海道立江差高等看護学院
○中村記念病院看護専門学校
ほか 各短期大学・専門学校など

<就職>

●北海道警察
●蘭越町役場
●赤井川村役場
●自衛隊（一般曹候補生）
○日本郵政（株）蘭越郵便局
○北海道信用金庫
○特別養護老人ホーム一灯園
○(株)志比川組 ○(株)菅原組
○(有)長澤設備 ○イオン北海道(株)
○野口観光(株) ○黒松内銘水(株)
○ゴールドバック(株)
○日本ビューホテル
○(株)ホームマックニコット ほか

2. 遠隔配信授業

遠隔配信授業は、配信センター（北海道有朋高等学校内T-base）の教員が、映像や音声を双方向でライブ配信できる通信機器を利用して行う授業です。

本校では、今年度、これを活用して、1年生の数学Ⅰの授業を1クラスを2つに分けて、少人数で実施しています。また、夏季休業中には、数学と英語の進学講習も配信授業で実施しました。

1人1人がパソコンを使いながら、配信センターの先生に指導してもらうなど、授業の進め方も工夫されています。

今後は、大学進学等の希望に対応した教科・科目を受信し、教育内容の充実を図ります。



3. 小中学校との連携

(1) 外国語教育の連携



蘭越町では、幼稚園から高校までの外国語教育CAN-DOリストを作成し、校種間連携を行っています。左の写真は本校生徒が小学校の英語の授業に参加した様子、右の写真は本校教諭による中学校への乗り入れ授業の様子です。



(2) 理科の交流授業

右の写真は、本校の学校設定科目「地域と自然」の授業の一環として、蘭越小学校4年生との交流授業の様子。本校生徒が、川の危険性について説明後、水生生物調査のサポートを行いました。



4. 体験を重視した学習

(1) 商品開発

商業科科目の授業では販売実習や商品開発、家庭科科目の授業では調理や被服の実習、保育所の訪問など、体験を重視した内容が多くなっています。右の写真は、「商品開発」、「フードデザイン」の授業で制作したデザートです。パティシエロワイヤルに応募し、商品化されました。



(2) 総合的な探究の時間



今年度から、本校の「総合的な探究の時間」は、蘭越町の自然・文化・産業などテーマに地域の課題を探究する取り組みを始めています。

そして、3年間の「総合的な探究の時間」の成果を発表する場として、町の最高意思決定機関である「町議会」を体験し、高校生が目線で町への提言を行います。

5. キャリア教育

(1) 地域の社会人との懇談会

町内で活躍されている社会人の方にご協力いただき、高校時代の進路選択や就職した当時の体験談、仕事に対する心構えなどについて懇談します。



(2) 企業見学・インターンシップ



1年生では後志管内の企業を見学し、様々な職種の方々が企業が構成されていることを学びます。2年生では近隣の企業でインターンシップを行います。就業体験や、企業が地域で果たしている役割や業界の課題などを探究する学習として実施しています。

